

Panasonic®

取扱説明書 Vol.1

メモリーカードカメラレコーダー

品番 AG-AC90

安全上のご注意

準備

撮影

再生

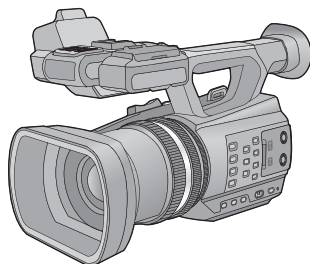
大事なお知らせ



今すぐご登録を！

本機は AVCCAM 3 年間無償
修理特約の対象商品です。
詳しくは 42 ページをご覧ください。

http://panasonic.biz/sav/pass_j/



Vol.1

保証書別添付

初めにお読みください

本書は、本機の基本操作について説明しています。より詳しい操作説明は、同梱の CD-ROM 内に収録の取扱説明書 Vol.2 (PDF ファイル) をお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(28 ~ 33 ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

AVCCAM

AVCHD™
Progressive

HDMI

SD
XC

DOLBY
DIGITAL

F0912MZ2054
Printed in Japan

JAPANESE

VQT4M89-2

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください(28～33ページ)

取扱説明書 PDF ファイルの開き方

CD-ROM を挿入し、CD-ROM 内の [INDEX.pdf] を開くと取扱説明書の一覧が表示されます。開きたい取扱説明書のドキュメント名をクリックしてください。

- PDF ファイルをご覧いただくには、Adobe Reader が必要です。アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。

準備

付属品	3
● 別売品のご紹介 (4)	
必ずお読みください	5
各部の名前	6
電源の準備	11
● バッテリーを充電する (11)	
● バッテリーを付ける / 外す (12)	
● 充電時間と撮影可能時間の目安 (12)	
● 電源コンセントにつないで 使うときは (13)	
カードの準備	14
● 本機で使えるカード (14)	
● SD カードを入れる / 出す (14)	
電源を入れる / 切る	15
モードを選ぶ	15
液晶モニター / ファインダーを使う	16
● 液晶モニターを使う (16)	
● タッチパネルの操作について (17)	
● ファインダーの調整 (17)	
時計を設定する	18
メニュー設定する	19
● カードフォーマット (19)	

撮影

記録するメディアを選ぶ	20
ビデオを撮る	20
写真を撮る	21
ズーム	21
おまかせ iA/ マニュアル	22
マニュアル撮影	22
● フォーカス (22)	
● ホワイトバランス (22)	
● アイリス (絞り・ゲイン) 調整 (23)	
● シャッタースピード (23)	
USER ボタン	24
● USER ボタンを設定する (24)	
● USER ボタンを使う (24)	
● USER ボタンの機能 (25)	

再生

ビデオ / 写真を再生する	26
テレビにつないで見る	27

大事なお知らせなど

使用上のお願い	34
著作権について	39
定格	40
保証とアフターサービス (よくお読みください)	42

付属品



以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。

<input type="checkbox"/> バッテリーパック 	<input type="checkbox"/> バッテリーチャージャー 	<input type="checkbox"/> AC アダプター 	<input type="checkbox"/> 電源コード(2本) 
<input type="checkbox"/> アイカップ 	<input type="checkbox"/> ワイヤレスリモコン (電池内蔵※) 	<input type="checkbox"/> CD-ROM (パソコン専用)  ● 取扱説明書	<input type="checkbox"/> USB 接続ケーブル 
<input type="checkbox"/> AV マルチケーブル 	<input type="checkbox"/> マイクホルダー 	<input type="checkbox"/> マイクホルダーアダプター 	<input type="checkbox"/> マイクホルダー用ねじ 長さ 6 mm (2個)  長さ 12 mm (2個) 
<input type="checkbox"/> レンズキャップ 	<input type="checkbox"/> INPUT 端子キャップ (2個) 	<input type="checkbox"/> ショルダーベルト 	

※ ワイヤレスリモコン用コイン電池の品番は CR2025 です。

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

安全上の注意

準備

撮影

再生

大事なお知らせ

別売品のご紹介

本機では以下の別売品がお使いいただけます。

品名（品番）

- 超指向性マイクロホン (AG-MC200G)
- バッテリーパック (VW-VBD55)
- バッテリーチャージャー (AG-B23)
- LED ビデオライト (VW-LED1)
- ワイドコンバージョンレンズ (VW-W4907H^{*})
- フィルターキット (VW-LF49N^{*})
- HDMI ケーブル (RP-CHE15)

^{*} 付属のレンズキャップを外してお使いください。

別売品の品番は、2014年5月現在のもので、変更されることがあります。

ワイドコンバージョンレンズ / フィルターキットについて

ワイドコンバージョンレンズ VW-W4907H やフィルターキット VW-LF49N の ND フィルターや MC プロテクターは、レンズ前部に取り付けてください。

- レンズフードの前部に取り付けることはできません。

お気をつけください

ND フィルターとワイドコンバージョンレンズなどを2枚重ねて取り付けることもできますが、ズームを W 側にすると四隅が暗くなる（ケラレ）場合がありますので、お勧めできません。

フィルターキット VW-LF49N に付属のレンズキャップを付ける（外す）には

フィルターキット VW-LF49N を使用する場合、本機を使用しないときは、レンズ保護のため、フィルターキットに付属しているレンズキャップを付けてください。

必ずお読みください

■ ビデオ撮影時の記録方式について

本機は AVCHD の記録方式でビデオ撮影できます。(P20)

- AVCHD Progressive (1080/60p) に対応しています。

AVCHD Progressive とは：

本機における最高画質 (1080/60p) の映像を記録することができます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影のときには、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

撮影内容の補償はできません

本機および SD カードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。また、本機を修理した場合においても同様です。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ セキュリティについて

本機の盗難、遺失や放置には十分お気をつけください。それらによる情報の漏洩、改ざん、消失については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ レーザー光線について



レーザー光線がレンズに照射されると、MOS センサーを破損するおそれがあります。レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分お気をつけください。

■ 本書内の写真、イラストについて

本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

■ 本書での記載について

以下のように記載しています。

- バッテリーパック→「バッテリー」
- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード→「SD カード」
- 撮影モードで使える機能→ 、再生モードで使える機能→ 
- 参照いただくページ→ P00

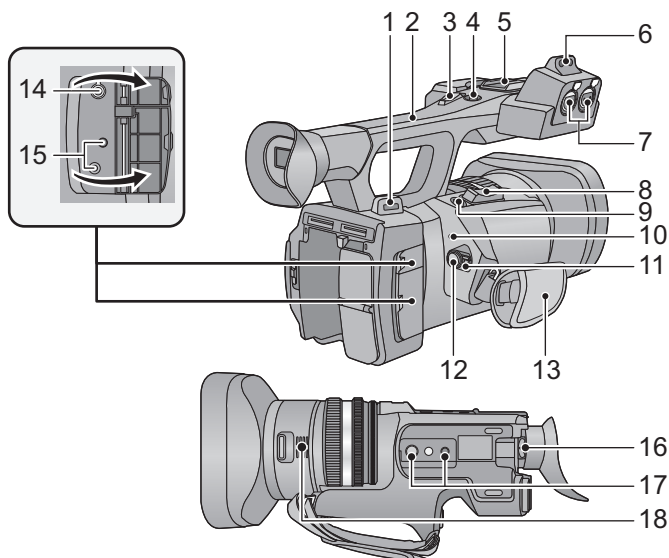
■ 露付き (レンズや液晶モニターが曇るとき) について

露付きは、屋外や寒い部屋から暖かい部屋に持ち込むなど、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニターの汚れ、かび、故障の原因となりますのでお気をつけください。

温度差のある場所へ持ち込むときは、約 1 時間移動先の室温になじませると、露付きを防止することができます。(温度差が激しい場合は、ビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密封してください)

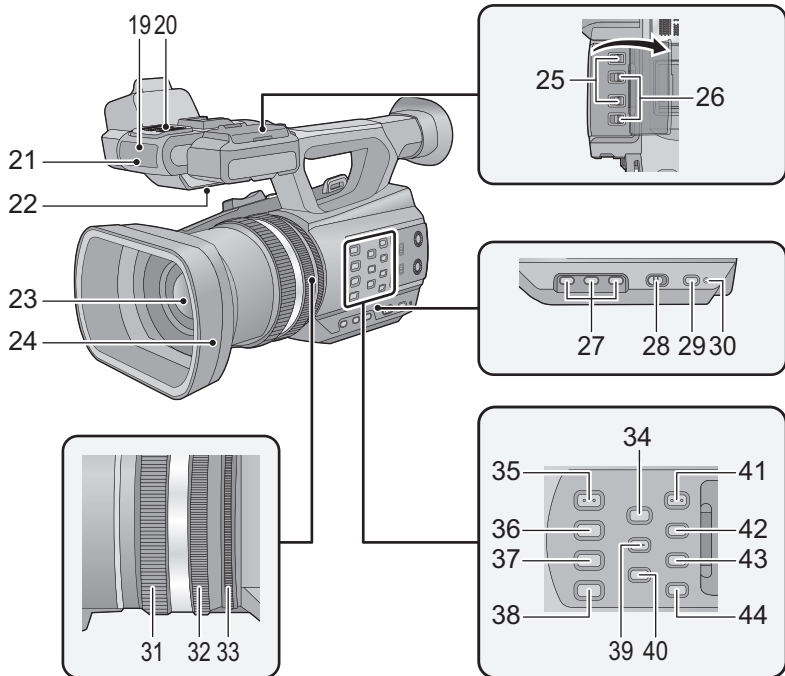
露付きが起こった場合、バッテリーや AC アダプターを外して、約 1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと曇りが自然に取れます。

各部の名前

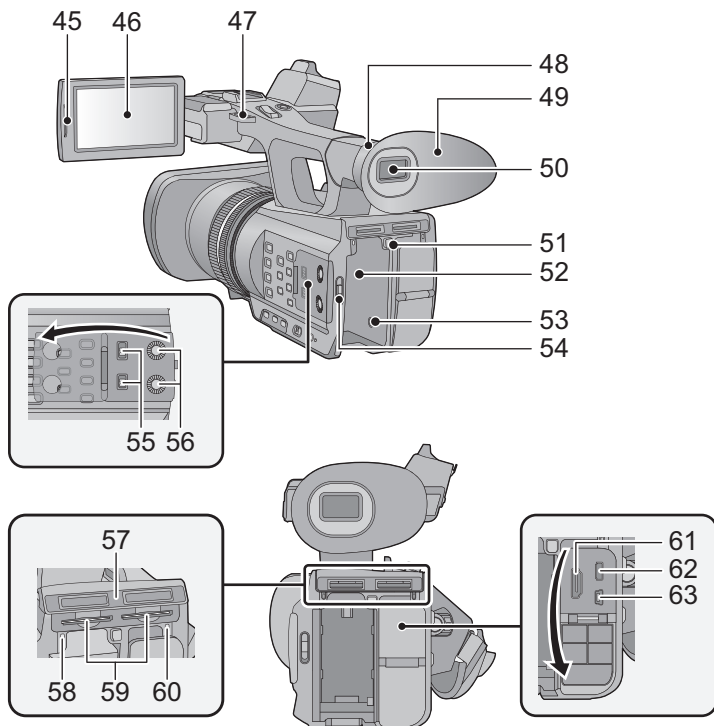


- 1 ショルダーベルト取り付け部 (P9)
- 2 ハンドル
- 3 サブズームレバー (P21)
 - ズームレバーと働きは同じです。
- 4 サブ撮影開始 / 一時停止ボタン
 - 撮影開始 / 一時停止ボタンと働きは同じです。
- 5 アクセサリーシュー
- 6 マイクホルダー取り付け部
- 7 AUDIO INPUT1/2 端子 (XLR3 ピン)
- 8 撮影時 : ズームレバー [T/W] (P21)
再生時 : ボリュームレバー [+VOL-]
サムネイル表示切り換え [Q /]
- 9 フォトショットボタン [] (P21)
- 10 動作表示ランプ (P15)
- 11 電源スイッチ (P15)
- 12 撮影開始 / 一時停止ボタン (P20)
- 13 グリップベルト (P9)

- 14 ヘッドホン出力端子 []
- 15 CAM REMOTE ジャック
CAM REMOTE (3.5 mm ミニジャック)
リモコン (別売) を接続して、フォーカスおよびアイリスを調整することができます。
 - おまかせ iA モード時は、リモコン (別売) を使用できません。
- ZOOM S/S (2.5 mm スーパーミニジャック)
リモコン (別売) を接続して、ズーム操作と撮影開始 / 一時停止を操作することができます。
 - CAM REMOTE ジャックにはリモコン (別売) 以外の機器を接続しないでください。リモコン (別売) 以外の機器を接続すると、映像の明るさが変化したり、ピントが合わなくなったりすることがあります。
- 16 視度調整レバー (P17)
- 17 三脚取り付け穴
- 18 吸気口 (冷却ファン)

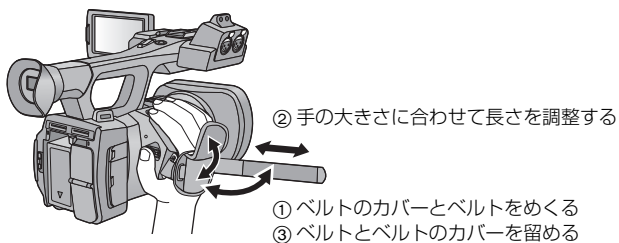


- 19 リモコン受信部
- 20 内蔵マイク
- 21 撮影ランプ
- 22 スピーカー
- 23 レンズ (P10)
- 24 レンズフード
- 25 INPUT1/2 (LINE/MIC) 切り換えスイッチ
- 26 INPUT1/2 (+48V) スイッチ
- 27 USER1/2/3 ボタン (P24)
- 28 おまかせ iA/ マニュアルスイッチ [iA/MANU] (P22)
- 29 QUICK START ボタン
- 30 QUICK START ランプ
- 31 フォーカスリング (P22)
- 32 ズームリング (P21)
- 33 アイリスリング (P23)
- 34 FOCUS ASSIST ボタン
- 35 IRIS A/M ボタン (P23)
- 36 FOCUS A/M/ ∞ボタン (P22)
- 37 手ブレ補正ボタン [O.I.S.]
- 38 W.B. ボタン (P22)
- 39 ZEBRA ボタン
- 40 BARS ボタン
- 41 MENU ボタン (P19)
- 42 DISP/MODE CHK ボタン
- 43 COUNTER ボタン
- 44 COUNTER RESET ボタン



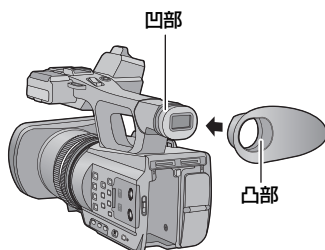
- | | |
|-------------------------------------|--|
| 45 液晶モニター引き出し部 [PULL] (P16) | 57 カードスロットカバー (P14) |
| 46 タッチパネル / 液晶モニター (P17) | 58 動作中ランプ (カード 1) (P14) |
| 47 ショルダーベルト取り付け部 (P9) | 59 カードスロット 1 (左) /
カードスロット 2 (右) (P14) |
| 48 アイカップ取り付け部 (P9) | 60 動作中ランプ (カード 2) (P14) |
| 49 アイカップ (P9) | 61 HDMI 端子 [HDMI] (P27) |
| 50 ファインダー (P17) | 62 AV マルチ端子 [AV MULTI] (P27) |
| 51 バッテリー取り外しボタン [PUSH] (P12) | ● AV マルチケーブルは付属のもの以外は接続
しないでください。 |
| 52 バッテリー取り付け部 (P12) | 63 USB 端子 [USB 2.0] |
| 53 DC 入力端子 [DC IN] (P13) | |
| 54 モードスイッチ (P15) | |
| 55 CH1/CH2 スイッチ | |
| 56 AUDIO コントロールつまみ(CH1/CH2) | |

■ グリップベルトの調整



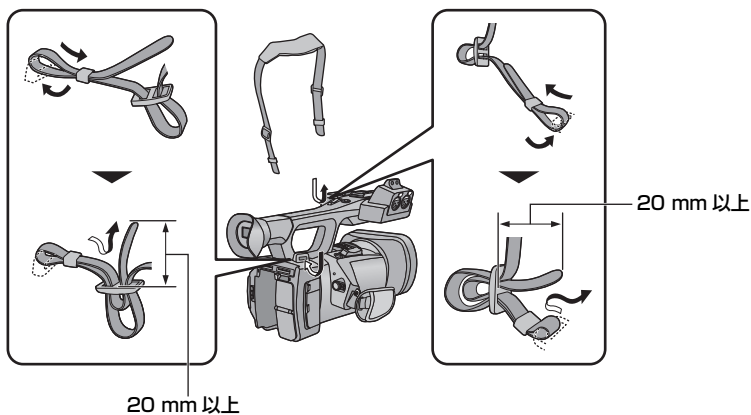
■ アイカップを取り付ける

アイカップ取り付け部の凹部とアイカップの内側の凸部を合わせて取り付けてください。



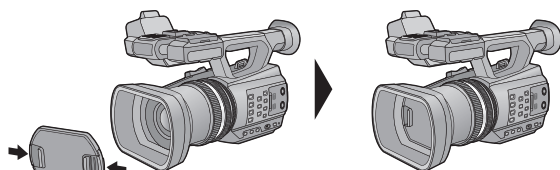
■ ショルダーベルトを取り付ける

本機を落とさないように、ショルダーベルト（付属）を取り付けることをお勧めします。



■ レンズキャップを取り付ける

本機を使用しない場合は、レンズ保護のためレンズキャップを取り付けてください。



つまんで付け外します。

電源の準備

本機で使えるバッテリー（2014年5月現在）
本機で使えるバッテリーは VW-VBD55 です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

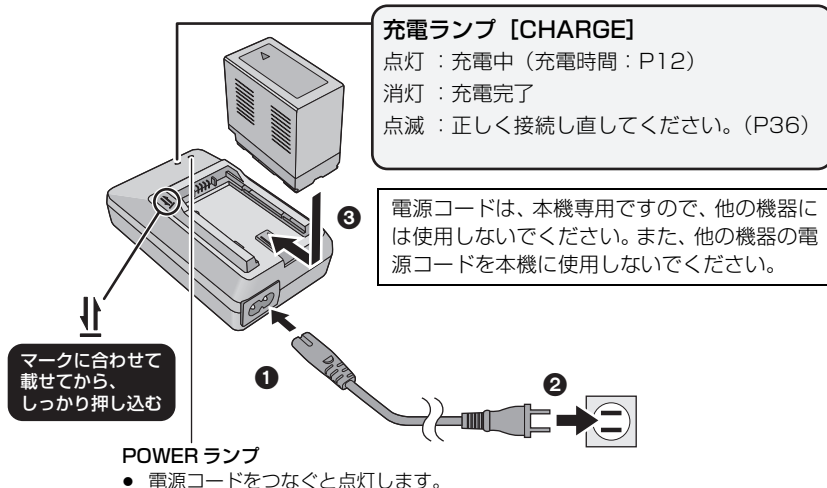
バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、十分に充電してからお使いください。

- 充電は周囲の温度が 10℃～30℃（バッテリーの温度も同様）のところで行うことをお勧めします。

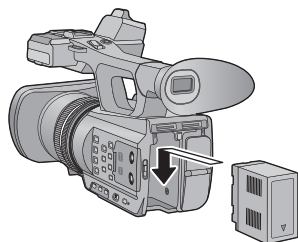
バッテリーチャージャーに電源コードをつないで、バッテリーを取り付ける

- 電源コードは ①② の順に、奥に突き当たるまで差し込んでください。



バッテリーを付ける / 外す

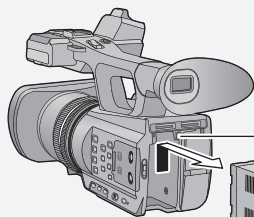
バッテリーを図の向きに取り付ける



「カチッ」と音がして、
ロックがかかるまで押し込む

バッテリーを外すには

必ず電源スイッチを「OFF」にし (P15)、動作表示ランプの消灯を確認してから、落下させないよう手で支えて取り外してください。



PUSH

バッテリー取り外しボタンを押しながら取り外す

充電時間と撮影可能時間の目安

■ 充電時間 / 撮影可能時間

[温度 25℃ / 湿度 60%RH / ファインダー使用時 (カッコ内は液晶モニター使用時)]

バッテリー品番 [電圧 / 容量 (最小)]	充電時間	記録 フォーマット	連続撮影 可能時間	実撮影 可能時間
付属バッテリー / VW-VBD55 (別売) [7.2 V/5400 mAh]	約 6 時間	PS 1080/60p	約 6 時間 25 分 (約 5 時間 45 分)	約 4 時間 (約 3 時間 35 分)
		PH 1080/60i	約 6 時間 45 分 (約 6 時間)	約 4 時間 10 分 (約 3 時間 40 分)
		PH 1080/30p	約 6 時間 50 分 (約 6 時間 5 分)	約 4 時間 15 分 (約 3 時間 45 分)
		PH 1080/24p	約 7 時間 10 分 (約 6 時間 20 分)	約 4 時間 25 分 (約 3 時間 55 分)
		HA 1080/60i	約 6 時間 45 分 (約 6 時間)	約 4 時間 10 分 (約 3 時間 45 分)
		HE 1080/60i	約 6 時間 55 分 (約 6 時間 5 分)	約 4 時間 15 分 (約 3 時間 45 分)
		PM 720/60p	約 6 時間 45 分 (約 6 時間)	約 4 時間 10 分 (約 3 時間 45 分)
		SA 480/60i	約 7 時間 5 分 (約 6 時間 15 分)	約 4 時間 20 分 (約 3 時間 50 分)
		CS 480/60i	約 7 時間 10 分 (約 6 時間 20 分)	約 4 時間 25 分 (約 3 時間 55 分)

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。高温 / 低温時など、使用状況によって充電時間、撮影可能時間は変わります。

お知らせ

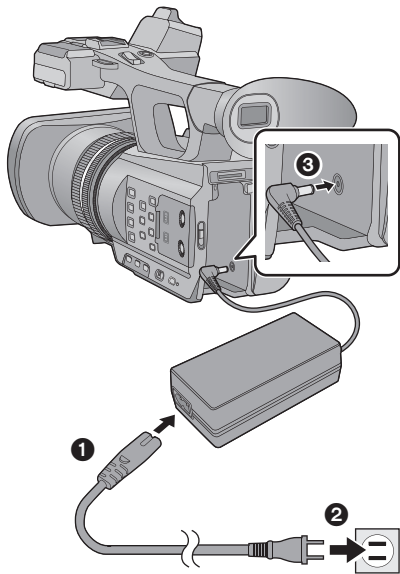
- 実撮影可能時間とは、撮影 / 停止、電源の入 / 切、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。

バッテリー残量表示について

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、と表示が変わります。容量がなくなるとが赤色で点滅します。

電源コンセントにつないで使うときは

- ACアダプターは、付属のACアダプターをお使いください。他の機器のACアダプターは使用しないでください。



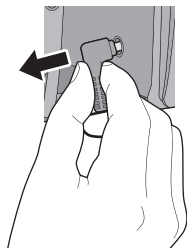
電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

1 電源コードを AC アダプターにつなぐ

- 電源コードは①②の順に、奥に突き当たるまで差し込んでください。

2 DC入力端子 [DC IN] に AC アダプターをつなぐ

■ AC アダプターを取り外すには



- AC アダプターを外すときは、必ず電源スイッチを「OFF」にし、動作表示ランプの消灯を確認してから、外してください。

カードの準備

本機は SD カードにビデオや写真を記録することができます。

本機は SDXC 対応機器 (SD メモリーカード /SDHC メモリーカード /SDXC メモリーカードに対応した機器) です。SDHC メモリーカード /SDXC メモリーカードを他の機器で使う場合は、各メモリーカードに対応しているか確認してください。

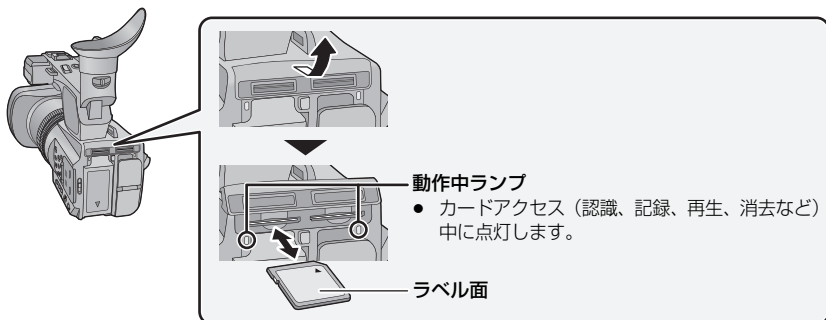
本機で使えるカード

ビデオ撮影時は、SD スピードクラスが 4 以上の SD カードをお使いください。

SD カードを入れる / 出す

当社製以外の SD カードや他の機器でお使いになった SD カードを本機で初めてお使いの場合は、まずフォーマットしてください。(P19)
フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。

動作中ランプの消灯を確認してください。



1 カードスロットカバーを開いて、カードスロットに SD カードを入れる (出す)

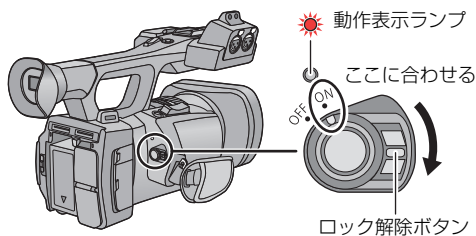
- カードスロット 1 / カードスロット 2 に、SD カードを 1 枚ずつ入れることができます。
- 入れるときはラベル面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込みます。
- 出すときは、SD カードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜きます。

2 カードスロットカバーを閉じる

- 「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。

電源を入れる / 切る

ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを「ON」に合わせて電源を入れる



動作表示ランプが点灯します。



【電源を切るには】

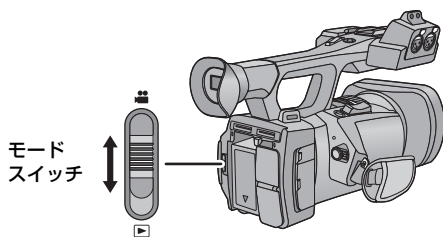
ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを「OFF」に合わせてください。動作表示ランプが消灯します。



お知らせ

- 「エコモード (バッテリー)」または「エコモード (AC)」が働いたあとに電源を入れ直すには、電源スイッチを一度「OFF」に合わせてから「ON」に合わせてください。

モードを選ぶ

モードスイッチをスライドさせて  または  に合わせる



	撮影モード (P20)	ビデオや写真を記録します。
	再生モード (P26)	ビデオや写真を再生します。

安全上の注意

準備

撮影

再生

大事なお知らせ

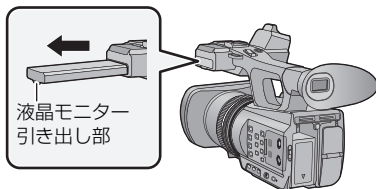
液晶モニター / ファインダーを使う

液晶モニターを引き出すとファインダーが消灯し、液晶モニターが点灯します。
液晶モニターを収納するとファインダーが点灯します。

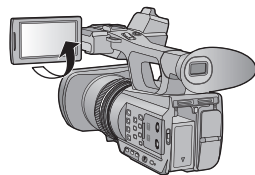
液晶モニターを使う

1 図の向きに液晶モニターを引き出す

- 液晶モニター引き出し部を持ちながら、引き出してください。

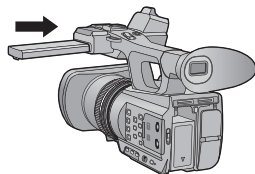


2 見やすい角度に回転させる



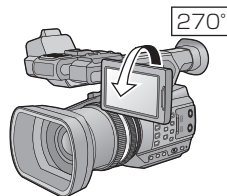
【液晶モニターを収納するには】

液晶面を下向きにして図のように収納してください。



【液晶モニターの回転範囲】

- レンズ方向に 270° まで回転します。



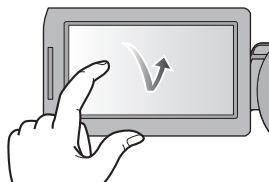
タッチパネルの操作について

指で液晶モニター（タッチパネル）を直接タッチして操作します。

■ タッチする

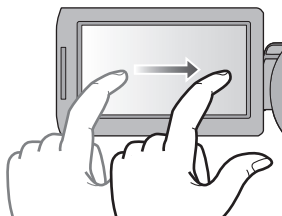
タッチパネルを押して離す動作で選択します。

- アイコンの中央部をタッチしてください。
- タッチパネルに触れている状態で、他の箇所をタッチしても動作しません。



■ タッチしながらスライドする

タッチパネルを押したまま動かす動作です。



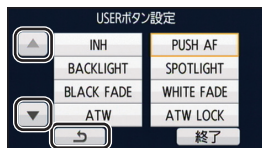
■ よく使うアイコンについて

▲/▼/◀/▶:

ページを切り換えたり、設定するときにタッチします。

↶:

前の画面に戻るときにタッチします。



✎お知らせ

- ボールペンなど、先のとがった硬いものでタッチしないでください。

ファインダーの調整

- 実際に記録される映像には影響しません。

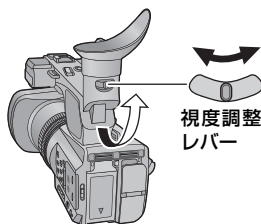
視度調整

ファインダーの画像がよく見えるように調整します。

1) ファインダーを見やすい位置にする

- ファインダーを動かすときは指を挟まないように気をつけてください。
- ファインダーは約 90° まで垂直に起こすことができます。
- 液晶モニターを収納して、ファインダーを点灯させてください。

2) 視度調整レバーを動かして調整する



安全上の注意

準備

撮影

再生

大事なお知らせ

時計を設定する

電源を入れたとき、「タイムゾーンと時計を設定してください。」というメッセージが表示される場合があります。「はい」を選んで、タイムゾーンの手順2から3の操作で設定をしてください。

1 メニュー設定する (P19)

MENU : 「その他の設定」 → 「時計設定」

2 合わせる項目(年/月/日/時/分)をタッチし、

▲/▼で数字を合わせる

- 2000年から2039年まで設定できます。



3 「決定」をタッチする

4 「終了」をタッチして設定を終了します。

お知らせ

- 時刻表示が「—」のときは、内蔵日付用電池が消耗しています。内蔵日付用電池を充電するには、本機に AC アダプターをつなぐかバッテリーを取り付けてください。約 24 時間そのままにしておくと、約 6 か月間時計設定を記憶します。(電源を切った状態でも充電しています)
- メニュー設定すると、時計の表示方法を変更できます。(P19)
「SW と表示設定」 → 「日時表示」または「表示スタイル」

タイムゾーン

グリニッジ標準時からの時差を設定します。

1) メニュー設定する (P19)

MENU : 「その他の設定」 → 「タイムゾーン」

2) ◀/▶をタッチして撮影する地域を設定する

- 日本で使う場合は「GMT +9:00」に設定してください。

3) 「決定」をタッチする

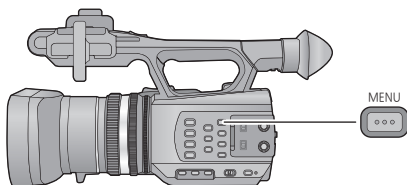
- 「時計設定」画面に切り換わることがあります。「時計設定」をしてください。

4) 「終了」をタッチして設定を終了します。

お知らせ

- タイムゾーン設定の変更に合わせて、本体の日付 / 時刻の設定も変更されます。

メニュー設定する



- 1 MENU ボタンを押す
- 2 トップメニューをタッチする
- 3 サブメニューをタッチする

トップメニュー



サブメニュー



- ▲/▼をタッチすると、次の(前の)ページを表示します。
- 4 項目をタッチして設定する
 - 5 「終了」をタッチしてメニュー設定を終了する

カードフォーマット

本機で初めてお使いになる SD カードは、撮影する前にフォーマットしてください。フォーマットすると、すべてのデータは消去されます。大切なデータはパソコンやディスクなどに保存しておいてください。

- 2 枚の SD カードを使用する場合は、2 枚ともフォーマットしてください。


メニュー設定する

MENU : 「その他の設定」 → 「カードフォーマット」 → 「カード 1」または「カード 2」

記録するメディアを選ぶ

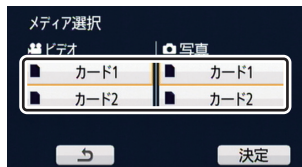
ビデオを記録するメディアと写真を記録するメディアをそれぞれ「カード1」または「カード2」に設定できます。

1 メニュー設定する

MENU  : 「SW と表示設定」 → 「メディア選択」

2 ビデオを記録するメディアと写真を記録するメディアをタッチする

- ビデオと写真それぞれに設定したメディアが黄色の枠で囲まれます。



3 「決定」をタッチする

ビデオを撮る

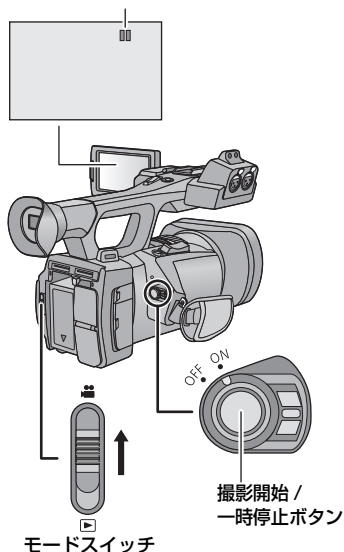
1 モードスイッチを に合わせる

- 液晶モニターを引き出してください。

2 撮影開始/一時停止ボタンを押して撮影を始める

- もう一度押すと、撮影を停止します。

撮影を開始すると  が  に変わります。




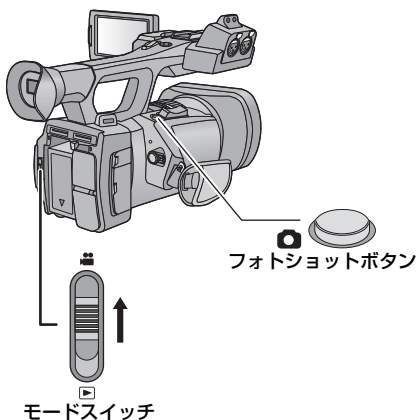
写真を撮る

1 モードスイッチを に合わせる

- 液晶モニターを引き出してください。


2 フォトショットボタンを押す

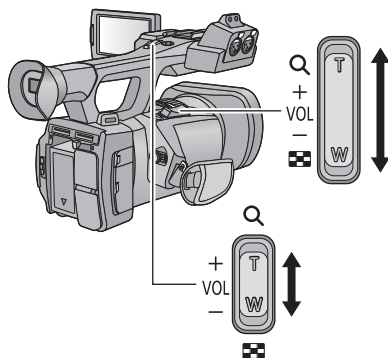
- 写真記録中に、残り記録可能枚数と写真動作表示 () が表示されます。



ズーム

12 倍まで拡大できます。

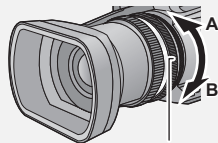
- 「iA ズーム」を「入」にすると、25 倍まで拡大できます。
- ズーム倍率は Z00 ~ Z99 の画面表示で確認できます。
ズームインすると数値が大きくなり、ズームアウトすると数値が小さくなります。
iA ズーム時は  99 と表示されます。



ズームレバー / サブズームレバー

T 側 : 大きく撮る (ズームイン: 拡大)
W 側 : 広く撮る (ズームアウト: 広角)

リングズーム



A 側 : 広く撮る (ズームアウト: 広角)
B 側 : 大きく撮る (ズームイン: 拡大)

安全上の注意

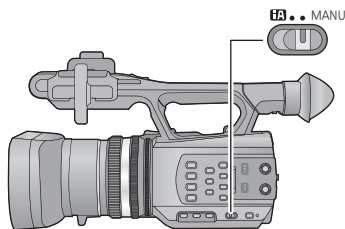
準備

撮影

再生

大事なお知らせ

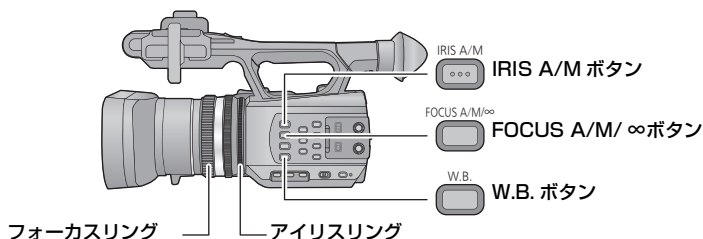
おまかせ iA/ マニュアル



おまかせ iA/ マニュアルスイッチ
スイッチをスライドさせて、おまかせ iA モードと
マニュアルモードを切り換えます。

- マニュアルモード時は、**MNL** が表示されます。
- おまかせ iA モード時は、撮りたいものに本機を向けるだけで、撮影状況に適したモードになります。

マニュアル撮影



フォーカス

フォーカスリングを使って、ピントの調整をします。自動でピントが合いにくいときに、手動で調整してください。

- マニュアルモードにする

1 **FOCUS A/M/ ∞** ボタンを押して、マニュアルフォーカスにする
● AF から MF に切り換わります。

2 フォーカスリングを回して調整する

ホワイトバランス

光源などによって、色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

W.B. ボタンを押してホワイトバランスのモードを切り換える

アイリス（絞り・ゲイン）調整

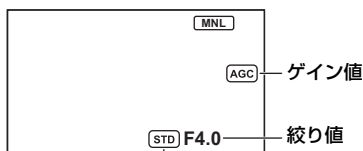
アイリスリングを使って、絞り、ゲインの調整をします。
暗すぎる（明るすぎる）場面で撮るときなどに調整してください。

● マニュアルモードにする（P22）

1 IRIS A/M ボタンを押して、マニュアルアイリスモードにする

- **[STD]** が非表示になります。
- ゲイン値が dB 表示になります。

2 アイリスリングを回して調整する



オートアイリスアイコン

- オートアイリスモード時に表示されます。

シャッタースピード

動きの速いものを撮るときなどには、シャッタースピードを調整してください。

● マニュアルモードにする（P22）

1 液晶モニターをタッチして操作アイコンを表示し、**[SHTR]** をタッチする

2 ▲/▼ をタッチして調整する

- **[AUTO]** をタッチすると、シャッタースピードが自動設定されます。
- **[SHTR]** をタッチして調整を終了してください。


USER ボタン

USER ボタンは、14 種類の機能からそれぞれ 1 つの機能を登録して使うことができます。

- USER ボタンは、本機の USER ボタンが 3 つ (USER1 ~ 3)、液晶モニターに表示される USER ボタンアイコンが 4 つ (USER4 ~ 7) あります。

USER ボタンを設定する

1 メニュー設定する



 : 「SW と表示設定」 → 「USER ボタン設定」

2 設定したい USER ボタンの機能名をタッチする



- USER ボタンの番号と設定中の機能名が表示されています。
(例えば 1. 「P.AF」と表示されている場合は、USER1 ボタンにプッシュ AF が設定されています)

3 登録する項目をタッチする

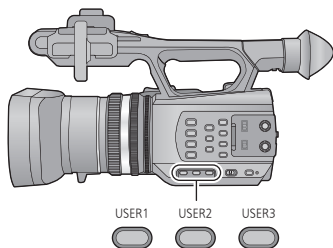
- 登録できる USER ボタンの機能については 25 ページをお読みください。
- 登録しない場合は「INH」をタッチしてください。
-  /  をタッチすると、次の (前の) ページを表示します。
- 他の USER ボタンも続けて設定する場合は、手順 2 ~ 3 を繰り返してください。

4 「終了」をタッチして設定を終了する

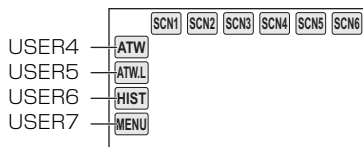
USER ボタンを使う

設定した USER ボタンを使うには、USER1 ~ 3 ボタンを押すか、操作アイコン表示中に、USER4 ~ 7 の USER ボタンアイコンをタッチします。

(USER1 ~ 3 を使う場合)



(USER4 ~ 7 を使う場合)



USER ボタンの機能


■ USER ボタン機能一覧

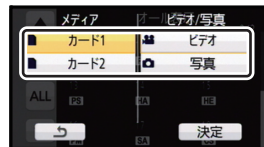
PUSH AF [P.AF]	ブッシュ AF
BACKLIGHT [B.Light]	逆光補正
SPOTLIGHT [S.Light]	スポットライト
BLACK FADE [B.FD]	黒フェード
WHITE FADE [W.FD]	白フェード
ATW [ATW]	ATW
ATW LOCK [ATW.L]	ATW ロック
D.ZOOM [D.ZM]	デジタルズーム
HISTOGRAM [HIST]	ヒストグラム
REC CHECK [REC.C]	REC チェック
LAST SCN DEL [LstDel]	ラストシーンデリート
DRS [DRS]	DRS
FRZ FRAME [FRZ]	フリーズフレーム
MENU [MENU]	メニュー





- 「」内は USER ボタンアイコンの表示です。
- 「DRS」はメニューから設定することもできます。

ビデオ / 写真を再生する



- 1 モードスイッチを  に合わせる
- 2 プレイモード選択アイコンをタッチする
- 3 再生したいメディアとビデオ / 写真をタッチする
 - 「決定」をタッチしてください。



- 4 再生するシーンまたは写真をタッチする
 - ビデオのサムネイル表示では、記録フォーマットが表示されます。(PH、PS など)
 -  /  をタッチすると、次の (前の) ページを表示します。
- 5 操作アイコンをタッチして再生操作する
 - ビデオを再生 / 一時停止するには、 /  をタッチしてください。
 - 操作アイコン表示中に画面をタッチする、またはタッチ操作しない状態が続くと、操作アイコンが消えます。再度表示する場合は、画面をタッチしてください。

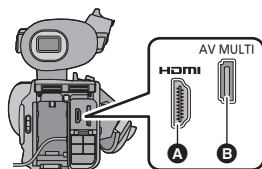


操作アイコン

テレビにつないで見る

HDMI ケーブル（別売）または AV マルチケーブル（付属）で本機とテレビを接続する

- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ（表紙）のある「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルを推奨します。
品番：RP-CDHS15（1.5 m）/RP-CHE15（1.5 m）
- 付属の AV マルチケーブルを必ずお使いください。AV マルチケーブルで D 端子や映像端子につながるときは出力設定を確認してください。



- A** HDMI 端子
- B** AV マルチ端子

安全上の注意

準備

撮影


再生


大事なお知らせ


安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。


 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

危険



- 指定以外のバッテリーパックを使わない
- バッテリーパックの端子部(⊕・⊖)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない
- バッテリーパックを分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- バッテリーパックを電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- バッテリーパックを炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要(寿命)になったバッテリーについては、36ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠ 危険



バッテリーチャージャーは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



バッテリーパックは、本機専用のバッテリーチャージャーで充電する指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



異常があったときには、バッテリーを外す

- ・煙が出たり、異常なおいや音がある
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体やACアダプター、バッテリーチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ACアダプターおよびバッテリーチャージャーは電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。
- ACアダプターおよびバッテリーチャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。



接触禁止

雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプター、バッテリーチャージャーなどの電源プラグに触れない

感電の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V～240 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠ 警告



電源コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、
ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない
火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。



コイン電池やメモリーカード(別売品)、マイクホルダー用ねじ、
マイクホルダーアダプター、INPUT端子キャップは、乳幼児の手の
届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状況に十分注意する。



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*の原因
になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を
受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい
傾向があります。

⚠ 警告



ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。



分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 注意



レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

⚠ 注意



三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない
三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になることがあります。

- 三脚を取り付けているときは、必ず三脚を持って持ち運びしてください。



ハンドルを持って振り回したり、揺さぶったり、振り下ろしたりしない
ハンドルを持って強い衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になることがあります。



コードやショルダーベルトを下に垂らしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない

足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。また、けがの原因になることがあります。



コイン電池は誤った使いかたをしない

- ・ 指定以外のコイン電池を使わない
- ・ ⊕と⊖は逆に入れない
- ・ 加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れてたりしない
- ・ ネックレスなどの金属物といっしょにしない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。



異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やバッテリー、ACアダプター、バッテリーチャージャーなどを絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

⚠ 注意



本機の放熱を妨げない

- ・ 押入れや本箱など、狭いところに入れない
- ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



電源プラグ
を抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターおよびバッテリーチャージャーの電源プラグを抜く通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災や感電の原因になることがあります。

- カードは、保護のため取り出しておいてください。



病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。



ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

使用上のお願い

本機について

使用中は本体や SD カードが温かくなりますが、異常ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなる場合があります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする

また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機の故障につながります。（SD カードの出し入れ時はお気をつけください）
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障するおそれがあります。
- 本機を持ち運ぶときは、グリップベルトやショルダーベルトを持ち、丁寧に取り扱いってください。

お手入れ

お手入れの際は、バッテリーを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

長期間使用しない場合について

- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをお勧めします。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売
店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または低くなるほど影響が大きくなります。湿度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後 5 分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。

また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使用後は、必ずバッテリーを外して保管する

- 付けたままにしておく、本機の電源を切っても、絶えず微小電流が流れています。そのままにしておく、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 端子部に金属が触れないようにビニールの袋に入れて保管してください。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。（推奨温度：15℃～25℃、推奨湿度：40%RH～60%RHです）
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温・多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、本機で充電容量を使いきってから再保管することをお勧めします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- 撮影したい時間の3～4倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をするときは、現地でもバッテリーを充電できるようにバッテリーチャージャーも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体やバッテリーチャージャーに付けると、本体やバッテリーチャージャーをいためます。

不要（寿命になったなど）バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱したり火中などに投入すると、破裂するおそれがあります。

充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ: <http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



充電式

リチウムイオン
電池使用


Li-ion 00

AC アダプター / バッテリーチャージャーについて

- バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。
- 充電ランプが点滅し続ける場合は、バッテリーやバッテリーチャージャーの端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。
ごみや異物、汚れが付着している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから取り除いてください。
それでも充電ランプが点滅する場合は、温度が高すぎるまたは低すぎるか、バッテリーまたはバッテリーチャージャーが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、AC アダプターやバッテリーチャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター / バッテリーチャージャー単体で約 0.3 W の電力を消費しています）
- AC アダプター、バッテリーチャージャー、バッテリーの端子部を汚さないでください。

長時間で使用になると本機表面や SD カードが多少熱くなりますが、故障ではありません。

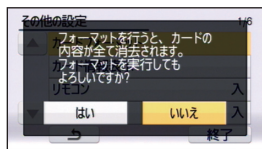
- SD カードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護・管理のための容量と、本機やパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。
- SD カードに強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 電気ノイズや静電気、本機や SD カードの故障などにより SD カードのデータが壊れたり、消失することがあります。

SD カードにアクセス中（表示中や動作中ランプ点灯中）は、以下の動作を行わない

- － SD カードを抜く
- － 電源を切る
- － USB 接続ケーブルを抜き差しする
- － 振動や衝撃を与える

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
- 廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、本機でメモリーカードを物理フォーマットすることをお勧めします。
- 物理フォーマットするには、本機を AC アダプターとつないで、メニューから「その他の設定」→「カードフォーマット」→「カード 1」または「カード 2」を選び、「はい」をタッチしてください。右記の画面で撮影開始 / 一時停止ボタンを約 3 秒間押し続けます。SD カードデータ消去の画面が表示されますので、「はい」を選び、画面の指示に従ってください。
- メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。



取り扱い上のお願い

- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- 次のような場所に置かない。
 - － 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
 - － 湿気やほこりの多いところ
 - － 温度差の激しいところ（露付きが発生します）
 - － 静電気や電磁波が発生するところ
- 使用後は袋やケースに収める。

液晶モニター / ファインダーについて

- 液晶面が汚れたときや露付きが起こったときは、めがねふきのような柔らかい布でふいてください。
- 液晶モニターをつめを立ててタッチしたり、強い力でこすったり、押ししたりしないでください。
- 液晶保護シートを貼ると、見えにくくなったり、タッチしても認識しにくくなる場合があります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニター / ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニター / ファインダーの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。

液晶モニター / ファインダーのドットについては 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下でドット欠けや常時点灯するものがあります。また、これらのドットは映像には記録されませんのでご安心ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

著作権について

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をください。

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および “AVCHD Progressive” のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby®、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Microsoft®、Windows® および Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- IBM および PC/AT は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Intel®、Pentium®、Celeron® および Intel® Core™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Mac および Mac OS は、米国 および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- 「Eye-Fi」は、アイファイジャパン株式会社の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
- 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品で SD メモリーカードに記録して、エンドユーザーに営利目的でそのカードを配布する場合には、別途 MPEG-LA とのライセンス契約が必要です。ここで言うエンドユーザーとは、個人使用目的でコンテンツを扱う人や団体を指しています。

定格

メモリーカードカメラレコーダー

電源：

DC 12 V (AC アダプター使用時) /
7.2 V (バッテリー使用時)

消費電力：

録画時：12.9 W

記録規格：

AVCHD 規格 Ver 2.0 準拠
(AVCHD Progressive)

映像圧縮方式：

MPEG4 AVC/H.264

音声圧縮方式：

Dolby Digital (5.1ch/2ch)

記録フォーマット：

PS 1080/60p : 約 25 Mbps (VBR)
PH 1080/60i : 約 21 Mbps (VBR)
PH 1080/30p : 約 21 Mbps (VBR)
PH 1080/24p : 約 21 Mbps (VBR)
HA 1080/60i : 約 17 Mbps (VBR)
HE 1080/60i : 約 6 Mbps (VBR)
PM 720/60p : 約 8 Mbps (VBR)
SA 480/60i : 約 9 Mbps (VBR)
CS 480/60i : 約 3.5 Mbps (VBR)

画素数と記録可能時間は、取扱説明書 Vol.2
(PDF ファイル) を参照してください。

写真記録方式：

JPEG (DCF/Exif2.2 準拠) 対応

記録画素数と記録可能枚数は、取扱説明書
Vol.2 (PDF ファイル) を参照してください。

記録メディア：

SD メモリーカード
SDHC メモリーカード
SDXC メモリーカード

本機で使用できる SD カードについては、
14 ページを参照してください。

撮像素子：

1/4.7 型 MOS 固体撮像素子 ×3
約 804 万画素 (約 268 万 ×3)

レンズ：

自動絞り光学電動ズーム (フルレンジ AF)
F 値 (焦点距離)
F1.5~F2.8 (f=2.84 mm~34.1 mm)
35 mm 換算
ビデオ / 写真：
29.8 mm ~ 383.7 mm (16:9)
最短撮像距離
約 3.5 cm (WIDE 端) / 約 1.2 m (TELE 端)

フィルター径：49 mm

ズーム：

光学 12 倍、iA25 倍、
デジタル 2 倍 / 5 倍 / 10 倍

手ブレ補正：

光学式 (ハイブリッド手ブレ補正、アクティ
ブモード (回転補正) 搭載)

モニター：

3.5 型ワイド液晶モニター (約 115 万ドット)

ファインダー：

0.24 型ワイド EVF (約 26.3 万ドット相当)

マイク：

5.1ch サラウンドマイク (ズームマイク /
ガンマイク機能付き) / ステレオマイク

最低照度：

約 3 lx (iA モード / オートスローシャッター
「入」 1/30 時)

AV マルチ端子映像出力：

D 端子用映像出力
Y : 1.0 Vp-p 75 Ω
Pb : 0.7 Vp-p 75 Ω
Pr : 0.7 Vp-p 75 Ω
映像端子用映像出力
1.0 Vp-p 75 Ω

HDMI 端子映像出力：

HDMI™ 1080p/1080i/720p/480p

AV マルチ端子音声出力：2ch

HDMI 端子音声出力：

Dolby Digital / リニア PCM

ヘッドホン端子音声出力：

3.5 mm ステレオミニジャック

カメラリモート：

2.5 mm スーパーミニジャック × 1
(ZOOM S/S)
3.5 mm ミニジャック × 1 (FOCUS/IRIS)

XLR 端子音声入力：

XLR (3ピン) ×2 (INPUT1/INPUT2)
LINE：0 dBu
MIC：-50 dBu/-60 dBu
(メニューで切り換え)

USB：

カードリーダー機能 (著作権保護機能なし)、
ハイスピード USB (USB 2.0)、
mini-B 端子

外形寸法 (突起部含む)：

幅 160 mm× 高さ 195 mm× 奥行き
350 mm

本体質量：

約 1500 g (バッテリー含まず)

使用時質量：

約 1780 g (SDカード、バッテリー使用時)

許容動作温度：

0℃～40℃

許容相対湿度：

10%RH～80%RH

バッテリー持続時間：

12 ページを参照してください。

AC アダプター

電源

AC 100 V-240 V 50/60 Hz

入力容量

66 VA (AC 100 V 時) /
82 VA (AC 240 V 時)

出力

DC 12 V 2.5 A

バッテリーチャージャー

電源

AC 100 V-240 V 50/60 Hz

入力容量

26 VA (AC 100 V 時) /
36 VA (AC 240 V 時)

出力

DC 8.4 V 1.2 A

安全上の注意

準備

撮影

再生

大事なお知らせ

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

本機は 3 年間無償修理特約の対象商品です。

お客様が本機を購入後 1 カ月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大 3 年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記ウェブサイトをご覧ください。

日本語 : http://panasonic.biz/sav/pass_j/

英語 : http://panasonic.biz/sav/pass_e/

■ 補修用性能部品の保有期間

8年

当社は、このメモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AG-AC90
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

安全上の注意

準備

撮影

再生

大事なお知らせ

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

©Panasonic Corporation 2014